

文芸 おまえぎき

俳句 おまえぎき俳句会

無事故祈るのみ 原発に手が届く 藤田 操
 原子炉停止 雉子鋭く鳴く 増森さく江
 強いストレス地球にもあった 増田葉子
 放射能汚染の夏蟬一斉に泣き出した 鈴木美穂
 親呼ぶ子供 地獄絵は誰が画いた 鈴木喜夫
 被災地の画面見る 原発のある町で 栗林純子
 激震災害 宇宙淡々と巡る 小野田重代
 夕陽ってどんな色 原発けむる 小野田重代
 思いやりの心 皆が思い出している 松井宏子
 発展が正義だった時代の終焉 松井宏子

短歌 志留波短歌会

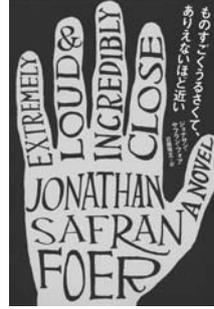
宿に近き浜千潮の刻ならむ少しづつ岩現れてきつ 伊村時代
 夏を待ち吊せし風鈴幾年を南部の音色風に流るる 大澤正江
 大災害他人事ならず吾が地にも浜岡原発五機が可動す 加藤えみ子
 亡き夫の弟なれば声の似て持てる受話器を置きがたくをり 齋藤まつえ
 遠き地の地震刻々わが町へ津波近づく不気味さ忘れじ 澤入千鶴
 傘さした人の遠くに見ゆるなり自動販売機の灯りの中に 澤部芳枝
 庭の木々枝葉落として自己流の様になりしと待つ法事の日 鈴木益代
 黄ばみたる漬物帳の余白には走り書きなる歌のきれぎれ 松井和紗

Books

図書館情報

PICK_01 一般

ものすごくうるさくて、ありえないほど近い



9歳のオスカーは、ある鍵に合う錠前を見つけるため、ママに内緒でニューヨーク中を探し回っている。その鍵は「あの日」死んだパパのものだった…。笑い、感動し、心の奥底から癒される、時代の悲劇と再生の物語。ベストセラー待望の邦訳。

ジョナサン・サフラン・フォア/NHK出版

PICK_02 子ども用

おつきさま、こんばんは！



お月さまの優しい光で目覚めた人形たち。マトリョーシカ、日本人形、テディベア、ピノッキオ。いろいろな国の人形が、それぞれのお月さまとの思い出を語りはじめ…。月の輝く不思議な夜に、人形たちのささやき声が聞こえてくるような絵本です。

市川里美/講談社

今月の新着図書

●一般

- 無伴奏 (著者/太田忠司)
- 黄土の疾風 (著者/深井律夫)
- 家の履歴書—文化人・芸術家篇— (著者/斎藤明美)
- 魔法のはさみ—今森光彦の切り紙美術館— (著者/今森光彦)
- もしベクレルさんが放射能を発見していなければ。(著者/大宮理)
- 世界をつなぐあこがれ企業の社員食堂レシピ (編著/TABLE FOR TWO)
- 節電・省エネの知恵123—「エネルギーシフト」に向けて— (著者/箕輪弥生)

●子ども

- ゆうれいなっとう (文/荻田澄子)
 - 斉藤さんがゆく (著者/祐天寺与太郎)
 - ハティのはてしない空 (作/カービー・ラーソン)
 - パンプキン！—模擬原爆の夏— (作/令文ヒロ子)
 - おじいちゃんはロボットはかせ (作/つちやゆみ)
 - 15歳の志願兵—ジュニア版 NKHスペシャル—
 - ダーウィンと出会った夏 (作/ジャクリン・ケリー)
 - 珍獣病院—ちっぽけだけど同じ命— (著者/田向健一)
 - パパと怒り鬼—話してごらん、だれかに、(作/ダロー・ダール)
- ※この他にもたくさんのが、図書館入っています。